

気管支喘息の病気で入院されていた患者さんへ

オシレーション法により気管支喘息増悪時における呼吸生理を客観的に評価する後方視的
検討

(研究番号 257)

研究機関

桑名市総合医療センター

研究責任者 八木 昭彦 (呼吸器内科)

このたび桑名市総合医療センターでは、気管支喘息の病気で入院されていた患者さんの
診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの
新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵
守して研究を行います。あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合
には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、気管支喘息にて入院加療を受けられた方の医療記録を後方視的
に検討することにより、喘息増悪で入院した際に、入院期間短縮や使用薬剤の早期減量

等が可能かどうかを検討し、診療レベルの向上を目指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

桑名市総合医療センターに受診し、気管喘息増悪で入院治療を受けられた方を対象とします。

2) 調査期間

2018 年 5 月～2024 年 12 月末

3) 研究方法・使用する試料/情報

電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。

4) 個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

5) 本研究の資金源（利益相反）

必要としません。

6) お問い合わせ先

住所：〒511-0061

桑名市寿町 3-11 桑名市総合医療センター

電話：0594-22-1211

担当者：呼吸器内科 八木昭彦

7) 備考

診療情報が当研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので上記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。